

# 大阪 あちこち

## ●多尊磨崖仏（石仏）の里を訪ねて

### —行ってみたい 歩いてみたい 石仏の里へ—

町の里道、旧街道沿いを歩いているとあちこちに点在散在している石仏が目飛び込んできます。野仏・里の仏たちのふっくらとした微笑には、訪れた人の心の安らぎを覚える不思議な魅力があります。黄金色に輝く稲穂と石仏がよく似合う秋、尽きせぬ魅力をもつ豊能町の石仏をいくつか紹介します。



切畑大円下所磨崖仏

切畑大円下所磨崖仏、川尻中の谷阿弥陀三尊、木代たぬきやぶの磨崖仏等…この地域の特色は多尊磨崖仏（多尊石仏）が多く見られることです。そして、そのほとんどは主仏を阿弥陀如来とし、後生の安楽往生を願った逆修仏が彫られたもので、室町末期の民間信仰の様子を知ることができます。また彫られた地蔵の数は村の字（あざ）の数と思われま。

多尊石仏の中で一番古いものは室町末期、永禄7年（1564年）「余野十三仏」、そして最も新しいものは「川尻北の谷」の多尊石仏で安土桃山時代、天正8年（1580年）です。



川尻北の谷双体地蔵石仏



余野十三仏

この間16年、逆修信仰が流行したようですが不思議なことにその前後には造られていません。時代は織田信長全盛期、多くの庶民は動乱の現世に終止符を打ち、来世の幸福を夢見たのでしょうか。時代背景と多尊石仏、何か意味があるように感じられます。

豊能町の石仏は、豊能町で産する石英閃緑岩（花崗岩）でできています。この石はとても硬く、石彫刻がしにくい反面、風化しにくいという特徴も持っています。石材そのものは小さく、目を見張るような大きなものではありませんが、自然石にあまり手を加えず、石の魅力を活かした石仏となっており、石工の匠の技も堪能できます。

他にも切畑地区法性寺の石風呂や地藏石仏、貝川三位の墓のような不思議な伝説やロマンを秘めた石造物も多く、野趣豊かな石仏・石造物を満喫できます。



### ▼お問い合わせ先▼

豊能町教育委員会生涯学習課

TEL 072-739-3428

E-mail shougaigakushuu@town.toyono.osaka.jp